

金城大学同窓会

《会報誌 第8号》 2014年12月発行号

金城大学同窓会 10周年記念交流パーティー



《同窓会活動報告》

平成26年度役員会 開催報告

《10周年記念交流パーティー 開催報告》

《同期会 開催報告》

《同窓生ピックアップ》

《半谷学長就任挨拶》

《大学行事報告》

平成25年度卒業式、平成26年度入学式、新入生歓迎会、
新入生合宿研修、クラブ・同好会代表者研修会、
卒業研究発表会、第39回金城祭

《トピックス》

看護学部・大学院 平成27年4月新設、
公開講座、北國健康生きがい支援事業、
ゆうがく広場／悠遊健康サークル、
金城学園創立110周年記念日に特別講話、
ハナミズキ植樹式、
第9回保健・医療・福祉創造フォーラム開催報告

《研究・教育活動報告》

研究活動成果報告会開催報告、
科学研究費助成事業採択状況 など



同窓会活動報告

平成26年度役員会開催報告

第1回役員会

平成26年4月19日(土) 10時30分～12時30分

【議題】

前回役員会「平成26年2月15日(土)」
議事録確認

1. 平成26年度役員会の改選について

2. 平成25年度事業報告・決算報告について

3. 平成26年度事業計画・予算について

平成26年度 事業計画・予算について
神谷幹事より資料に基づき説明がなされ、会費の取り扱いについて、今年度よりは正するため、特別会計より一般会計に510万円を繰入する提案がなされ、全会一致で承認されました。

4. 10周年記念交流パーティーについて

10周年記念交流



パーティーについて、濱田会長より資料に基づき説明がなされ、開催内容等の確認がなされました。託児所の設置について、先着20名(1歳児から12歳児)で対応できるようにし、授乳室の設置と子ども用の食事について、ホテル側と調整することの確認がなされました。

今後のスケジュールについて、5月中旬までに開催案内を行い、出欠締切を6月上旬とし、企画の内容については今後詰めていくこととなり、いずれも全会一致で承認されました。

5. その他

平成26年8月30日(土) 10時30分から第2回役員会を開催することとしました。

第2回役員会

平成26年8月30日(土) 10時30分～12時30分

【議題】

前回役員会「平成26年4月19日(土)」
議事録確認

1. 10周年記念交流パーティーについて

10周年記念交流パーティーについて、酒井幹事より資料に基づき説明がなされました。今年度も例年通り着席でコース料理としました。記念パーティーということもあり例年より出席者数が多く、人数に伴い開催前に出欠の変更が多々あったことで座席の指定が困難であったこと、また今年度初の試みとして設置した託児所は利用者が少なく、費用との兼ね合いを検討すべき結果となりました。

次年度の交流パーティーについて、今年度の反省を活かし、以下の通り検討していくこととなり、全会一致で承認されました。

【開催内容】

開催日：平成27年10月24日(土)
場所：金沢駅周辺のホテル
会費：2,000円程度
形式：ビュッフェ形式(立食)
託児所：設置しない

2. その他

- 平成27年7月4日に開催される学校法人金城学園創立110周年記念式典・祝賀会にお祝い金を差し上げることとなり、全会一致で承認されました。
- 金城祭の金券は、今年度から1,000円とすることとなり、全会一致で承認されました。
- 平成27年5月16日(土) 10時30分から平成27年度第1回役員会を開催することとしました。

予算・決算 (平成25年度決算・平成26年度予算)

一般会計 (単位:円)			一般会計 (単位:円)		
収入の部	平成25年度決算	平成26年度予算	支出の部	平成25年度決算	平成26年度予算
会費	5,040,000	5,100,000	会議費	946,845	225,000
利息	387	387	交流パーティー運営費	—	2,000,000
雑費	0	0	金城祭補助費	306,750	500,000
前年度繰越金	2,421,548	2,645,006	会報誌制作費	473,935	550,000
合計	7,461,935	7,745,393	ホームページ制作費	126,000	150,000
特別会計 (単位:円)			通信費	614,288	950,000
収入の部	平成25年度決算	平成26年度予算	雑費	194,839	200,000
特別会計繰入金	1,500,000	500,000	会費戻金	40,000	200,000
利息	5,794	5,794	同期会開催助成金	114,272	500,000
前年度繰越金	25,011,641	26,517,435	事務費負担金	500,000	500,000
合計	26,517,435	27,023,229	特別会計繰入金	1,500,000	500,000
支出の部			予備費	0	1,470,393
一般会計繰入金	—	5,100,000	合計	4,816,929	7,745,393
予備費	—	21,923,229			
合計	0	27,023,229			

※(収入の部)合計7,461,935円－(支出の部)合計4,816,929円
＝2,645,006円を次年度繰越金とする。

平成26年度役員・委員

会長	濱田 陽介(1期生)	副会長	中野 雄介(1期生)	河合 直人(8期生)	会計監事	上田 良和(1期生)	園谷 準(1期生)
委員	内島 一憲(1期生)	今村 裕子(1期生)	紺 昇平(1期生)	赤津 慎太郎(2期生)	久田 緑(2期生)	寺井 紀裕(2期生)	
	川口 雄幸(3期生)	川嶋 玲子(3期生)	田中 宏治(3期生)	七野 澄麗(3期生)	山下 和恵(3期生)	安土 貴子(4期生)	
	高橋 志未(4期生)	林 裕也(4期生)	赤木 由未子(4期生)	庄田 紋子(4期生)	清水 敦子(4期生)	岩城 涼子(5期生)	
	角平 舞(5期生)	越村 知恵(5期生)	高橋 里枝(5期生)	松下 早希(5期生)	池上 実希(5期生)	辰田 沙弥香(5期生)	
	花井 友美(6期生)	稲葉 文香(6期生)	大久保 朋美(6期生)	早崎 久穂(6期生)	高橋 孝明(6期生)	西村 仁美(6期生)	
	宮原 千夏子(6期生)	荒木 友希(7期生)	土田 行美(7期生)	成川 千絵(7期生)	西川 美香(7期生)	鷹合 いつか(7期生)	
	澤田 竜之介(8期生)	西谷 彰紘(8期生)	松浦 由依(8期生)	竹田 圭佑(8期生)	鷺田 恵(8期生)	岩田 めぐみ(9期生)	
	北村 允人(9期生)	釧村 祐依(9期生)	藤川 彩(9期生)	中佐 武尊(9期生)	濱 星美(9期生)	藤川 諒也(9期生)	
	田中 貴大(10期生)	前田 静香(10期生)	廣岡 恵莉香(10期生)	岩上 倫太郎(10期生)	坂 千晶(10期生)	池田 光次郎(11期生)	
	柳引 敏裕(11期生)	谷内 奈津美(11期生)	三平 拓矢(11期生)	村澤 卓朗(11期生)			

幹事 岡村 綾子、永坂 晃子、野口 雅弘、酒井 茂、神谷 伸久、竹内 明美、江守 優

10周年記念交流パーティー 開催報告



10周年記念交流パーティーの様子



加藤晃学園長による乾杯の発声



濱田陽介会長

7月5日(土)に、ホテル日航金沢にて、「金城大学同窓会 10周年記念交流パーティー」が開催されました。当日は、卒業生112人、教職員46人の出席があり、盛大に催されました。

はじめに、濱田陽介会長(1期生)より同窓会設立10周年を迎えることができ、盛大にパーティーを開催できることに謝辞が述べられました。続いて、来賓を代表して学校法人金城学園加藤真一理事長にご挨拶をいただいたあと、先の役員会で審議、承認された事項について濱田陽介会長より報告が行われました。

その後、パーティーへと移り、金城大学 半谷静雄学長よりご挨拶、学校法人金城学園 加藤晃学

園長より乾杯のご発声をいただき、和やかな雰囲気で行われました。途中、豪華景品が当たるゲームを行ったり、また、10周年を振り返る映像が放映され、恩師や旧友たちと学生時代を思い出しながら、楽しいひと時を過ごしました。

また今回は、お子様同伴でも出席できるよう、託児所や授乳室を設け、多数の同窓生に出席していただきました。

最後に、記念として集合写真を撮影し、盛会のうちに終了しました。

当日は、ご多用の中ご出席いただいた皆様、誠にありがとうございました。

同期会 開催報告



懇親会の様子

平成26年度 医療健康学部 卒後研修セミナー及び懇親会 報告

平成26年9月20(日)に、医療健康学部理療法学科の卒業生を対象とした卒後研修セミナーが開催されました。今回の研修会は公立松任石川中央病院、理学療法士の長田勉先生をお招きして、『膝関節の評価と治療』と題した3時間の実技講習を行いました。「関節可動域を効果的に改善するにはどうすべきか」という理学療法士にとって非常に重要な課題を、解剖学的視点から論理的に解説する長田先生の分かりやすい実技講習は、多くの卒業生にとって大変有意義なものになりました。

セミナー後は、場所を「日本海庄」に移し、懇親会が行われました。懇親会には、長田先生や本学教員も参加し、大変盛況な会となりました。

同窓生活動 報告の募集

同窓生の皆様におかれましては、各方面でご活躍のことと思います。その中で、「同期会を開催しました」「同じサークルだった仲間と久々に集まりました」など、同窓生の近況報告を募集しています。是非、同窓会会報誌でも活動の模様を掲載させていただきたいと思っておりますので、お気軽に情報をお寄せください。

同窓生ピックアップ

「患者さんとともに喜べる やりがいのある仕事」

理学療法士として、「千木病院」リハビリテーション部に勤務して2年目になります。入院患者さんが一日でも早くご自宅に帰れるように、基本動作を中心とした理学療法を提供しています。今は35人の患者さんを受け持っており、お一人お一人に最適なメニューを作成し、退院後の生活を見据えたりハビリを行っています。

幼い頃から医療の現場に興味があり、当初は看護師に憧れていました。その後、ある漫画で理学療法士の存在を知ったのがきっかけで、そういう仕事もいいなと思うようになったのです。金城大学・理学療法学科での4年間は、勉強はもちろん、小学校時代から続けているバスケットボールに、スポーツジムのア



坂 千晶さん【医療法人社団 浅ノ川 千木病院勤務】
医療健康学部 平成24年度卒業 10期生



ルバイトなど、本当に楽しく充実したものでした。

一番の思い出は、オープンキャンパスの「キャンパスガイドリーダー」を4年間続けたことです。自分自身、看護師と理学療法士の間で迷ったこともあり、同じような高校生の相談に応えられればと思つて活動していました。

目指していた理学療法士になった現在、毎日の仕事はすごく楽しく充実しています。寝たきりや認知症などコミュニケーションが困難な方でも、かわつていく中で表情が豊かになったりすると、良かったなと思うと同時にやりがいを感じます。

その一方で自分の技術は、まだまだだなと痛感しています。そのため、仕事終わりや休日に、講習会や勉強会に参加するなどスキルアップに努めています。

「千木病院」では在宅支援病棟を設けて、入院患者さんをご自宅に帰すリハビリを重点的に展開しています。この病棟ではスタッフ全員が在宅支援に積極的に取り組んでいるので、私も「在宅支援」に少しでも貢献できる理学療法士になれるよう努力をしています。

「患者さんの心に一番近い 医療ソーシャルワーカーに」

金城大学を卒業してから強く思うのは、社会福祉士の国家試験という一つの目標に向かって、友達とがむしやりに勉強した時間はすごく大変でしたが、とてもいい時間だったということです。病院で働く人になりたいと思っていた私は、医療事務も社会福祉士の資格も取れる医療・福祉ビジネスコースを専攻。当初は医療事務を目指していたので、医療事務のアルバイトもしていました。

そうした中で、医療事務は患者さんとかかわりが比較的少ない仕事だなと実感しました。先生や看護師さんが患者さんと直接話して、いろいろな話を聞いて相談に乗っている姿がうらやましく感じられ、自分も患者さんと深くかわつて何かできる仕事に就きたいと



石崎 ゆかりさん【医療法人社団 瑞穂会 みずほ病院勤務】
社会福祉学部 平成25年度卒業 11期生

思うようになったのです。

現在、私は主に透析室でのヘルパー（看護補助）業務に従事しながら少しずつ医療ソーシャルワーカーとしての実践を行っています。看護師さんが患者さんとかかわりやすいように、諸々の準備を整えたり、透析患者さんの入れ替わりがスムーズにいくよう誘導したり、透析を終えた患者さんに昼食を配膳し、食事の介助をしたりしています。

例えば、医療ソーシャルワーカーとして、入院患者さんが退院した後どうしようという話をするにしても、退院際に「初めまして」と対面するのは患者さんも話にくいでしょう。患者さんが透析している空間に自分もいて、普段からかわつて流れているいろいろな相談に乗れる環境がとても大切だと考えています。

笑顔で患者さんに接して、笑顔で働きたいというのが一番にあります。そして、患者さんが不安に感じていることを理解して寄り添えるような、患者さんの心に一番近いスタッフでいられたらいいなと思います。まだ、目の前の仕事に追われている感じなので、早く理想像に近づけるよう頑張っていきたいです。



半谷学長就任挨拶



「アッ！これが白山市周辺を日本一の健康長寿地域にしたあの有名な金城大学か」といわれ、本学が白山市の観光拠点の一つとなる日の来ることを祈念して、非才ではありますが私も微力を尽くすつもりですので、同窓会の皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

同窓会の皆様、初めまして！今年の4月から学長をしております半谷です。

金城大学は西暦2000年社会福祉学部を母体に開学し、2007年には医療健康学部が開設され、理学療法学科の卒業生は今年の3月で4回目を数えます。来年には新たに看護学部の開設が決定しましたので、5年後の西暦2019年には新しく看護学部の同窓生を迎えることになります。これら一連の学部新設の流れは、金城大学が医療系の大学へと更なる飛躍を遂げつつあることの表れです。昨年、国民の4人に1人が65歳以上の高齢者となりましたが、今後も高齢化率は上昇し、看護学部が2回目の卒業生を送り出す2020年の東京オリンピックの年には、3人に1人弱が高齢者になると予測されています。高齢化による医療費高騰の抑制を目指して、国は医療から介護へと大きく軸足を移しましたが、それでも高齢化による医療費高騰の抑制と高齢者の健康維持の達成には限界のあることが明らかになりつつあります。この解決には予防医学の徹底化、即ち地域の方々への健康長寿への啓蒙とその実践以外に道はありません！おそらく国も近い将来介護から予防医学へとさらに軸足を移し、これからの医療のkey wordは「地域に根ざした予防医学」になるものと確信しています。

金城大学はこの「地域に根ざした予防医学」の実践に最も適した大学であるといっても過言ではありません。本学は①予防医学に欠かせない人材の養成学部をすべて備え、②人口の流動性が少なく、予防医学の実践に適した11万人程度の人口規模を有する自然に恵まれた環境の良い白山市に位置しています。これに加えて、同窓生の皆様各自がそれぞれの地域の福祉・医療の現場でリーダーシップを発揮しながら、お互いのネットワークをさらに活用して、予防医学の実践に力を発揮していただければ、白山市周辺の地域を日本一の健康長寿地域にすることも夢ではないと思っています。

金城大学 学長 半谷 静雄

金城学園の建学の精神・金城大学の設立の理念など

金城学園	建学の精神	遊学の精神の涵養 何ものにもとらわれず、自由に広く世の中を見聞し、人格を高め磨いていくこと。 良妻賢母の育成 家庭における女性の役割の重要性にかんがみ、周りの人々がより良く幸せに生きるために支えとなる人材を育成すること。	教育理念	創始者：加藤廣吉・せむ 率先垂範、質素勤勉 二代目：加藤二郎 教育とは 云うてきかす事ではない。して見せる事でもない。している事である。 三代目：加藤晃 教育とは先生と学生の全人格のぶつかり合いの中から生まれてくる学生への影響、それも何らかのよい影響である。
	設立の理念	明日の福祉社会を先導する福祉のリーダー的存在の養成	目的及び使命	教育基本法・学校教育法の精神に則り、広く知識を授けるとともに、深く専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的および応用的能力を養い、文化の向上および社会の福祉に寄与する人材を育成することを目的とする。(学則第1条)

平成25年度 金城学園 財務概要

消費収支計算書

(単位:千円)

消費収入の部	
科 目	金 額
学生生徒等納付金	2,429,727
補助金	799,630
その他	244,077
基本金組入額	-539,318
消費収入の部(合計)	2,934,116

消費支出の部	
科 目	金 額
人件費	2,160,407
教育研究経費	764,764
管理経費	392,060
その他	32,355
消費支出の部(合計)	3,349,586
当年度消費支出超過額	415,470

貸借対照表

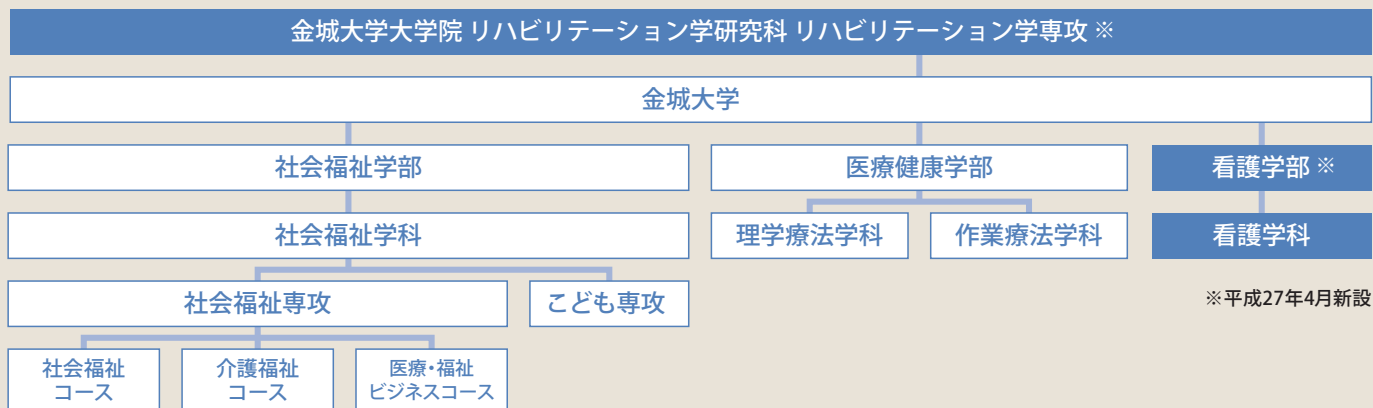
(単位:千円)

資産の部	
科 目	金 額
固定資産	9,495,552
有形固定資産	8,937,544
その他の固定資産	558,008
流動資産	2,519,872
資産の部(合計)	12,015,424

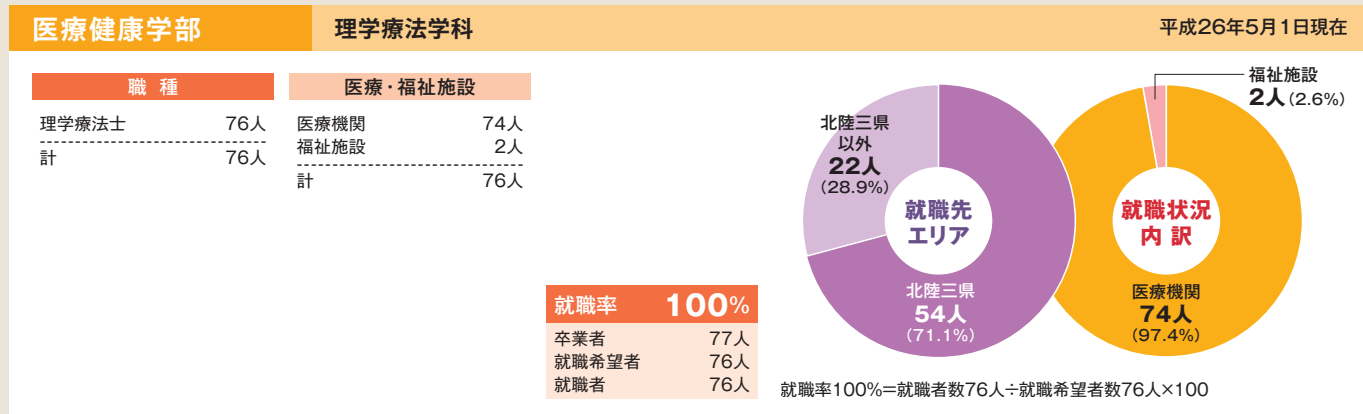
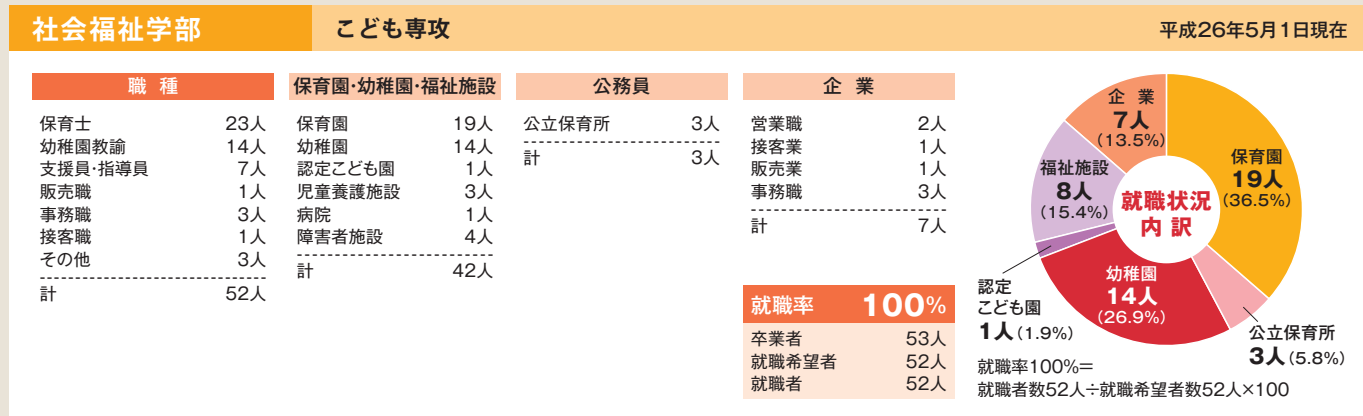
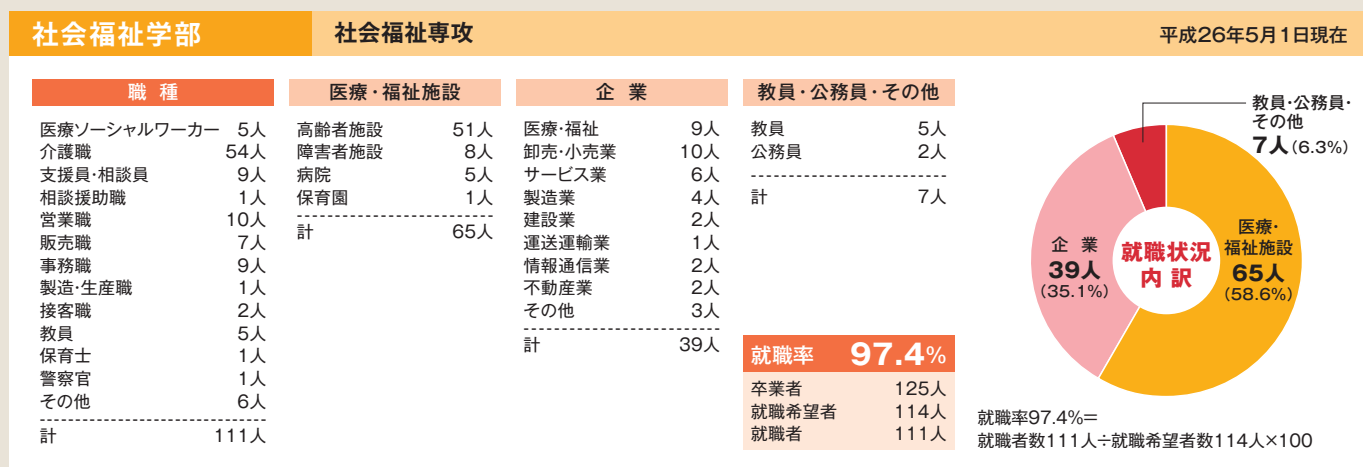
負債・基本金・消費収支差額の部	
科 目	金 額
固定負債	1,724,657
流動負債	695,525
基本金	12,404,904
消費収支差額	-2,809,662
負債・基本金・消費収支差額の部(合計)	12,015,424

※ 詳しくは、金城学園ホームページ (<http://www.kinjo.ac.jp/>) をご覧ください。

平成26年度 金城大学 学部・学科構成図 一覧



平成25年度卒業生の進路結果



※医療健康学部 作業療法学科は平成25年度開設のため卒業生なし

大学行事報告

平成25年度卒業式

平成26年3月18日



金城大学の卒業式は3月18日（火）、白山市松任文化会館で行われ、卒業生255人が新たな一歩を踏み出しました。

奈良塾前学長が式辞を述べ、社会福祉学部の高田彩香さんが答辞で「授業や実習を通して、福祉が社会に必要不可欠であると実感した」と話し、式典の最後に奈良塾学長が作詞、同大短大部の遠藤伊津

子准教授が作曲した同大の校歌「大学賛歌」が初披露されました。同日、会場を金沢エクセルホテル東急へ移し、卒業パーティーが盛大に行われました。次年度の卒業式は、平成27年3月18日（水）に白山市松任文化会館にて行われる予定です。

平成26年度入学式

平成26年4月1日

4月1日（火）に、第15回入学式が白山市松任文化会館にて挙行され、社会福祉学部151人（3年次編入生6人を含む）、医療健康学部105人、2学部総計256人が入学し、大学生生活の新たなスタートを切りました。

加藤真一理事長が告辞、半谷静雄学長が式辞を述べ、続いて祝辞が披露されました。最後に、



新入生歓迎会

平成26年4月5日

入学式が終わって間もない4月5日（土）に新入生歓迎会が開催されました。学友会メンバーが企画した、ウォー

新入生合宿研修

平成26年4月11日～13日



今年度も、かんぼの郷白山尾口にて両学部合同の新入生合宿研修が、4月11日（金）～12日（土）、12日（土）～13日（日）の2班体制で行われました。社会に出るために必要なマナーを身につける、大学生としての自覚と計画性を持つ、異なる学部専攻の学生や教職員との交流を図ることを目的に、レクリエーションやスポーツ大会、マナー講座等のさまざまな企画が実施されました。研修を通じて、今後の大学生活の第一歩を踏み出すことができました。



クラブ・同好会代表者研修会

平成26年5月31日



5月31日（土）に、各団体の代表者を対象にクラブ・同好会代表者研修会が開催されました。クラブ活動支援費申請や活動報告などの書類作成方法の説明をはじめ、本学の卒業生3人を講師に招き、大学を卒業するまでに学生生活にて準備すべきことのアドバイスを中心に意見交換会を行いました。その後、

全員で学内清掃を行った後に、交流昼食会を行い、クラブ・同好会で親睦を深めることができました。

卒業研究発表会

医療健康学部平成26年10月4日

社会福祉学部平成26年12月～27年2月

10月4日（土）に、金城大学医療健康学部卒業研究発表会が開催されました。理学療法学科の学生59人が3年次よりゼミ教員の支援を受けながら実施してきた卒業研究の成果を発表する集大成の発表会です。



学生たちは、パワーポイントを用いて、自分の研究成果について自分なりの言葉で説明し、質疑応答では発表では伝えきれなかった内容を相手にわかりやすく伝えるように努力する様子も見られました。昨年度から、卒業論文・発表優秀賞（永坂賞）を導入し、学生推薦結果をもとに、発表優秀者を表彰する取り組みを実施しています。

社会福祉学部は、12月から2月にかけて各ゼミで卒業研究発表会を行います。

第39回金城祭

平成26年10月25日～26日



今年度は、「Beginning of a New Kinkyo Festival」をテーマに、第39回金城祭が10月25日（土）・26日（日）に開催されました。「住岡梨奈・片平里菜」によるゲストライブ、模擬店ステージでの各種イベント等の企画が実施されました。両日とも晴天に恵まれ、多くの方に足を運んでいただき、大盛況のうちに幕を閉じることができました。

トピックス

大学院・看護学部 平成27年4月新設



来年4月、新たに大学院リハビリテーション学研究科と看護学部看護学科が開設されます。大学院では、リハビリテーション領域のリーダーとなる高い専門性をもつ人材の養成を目指し、就業しながら学べる昼夜開講制・長期履修制度を取り入れ、学生だけではなく社会人に対しても広く門戸を開き、開設されます。また、看護学部は、松任の中核病院である公立松任石川中央病院に隣接する医療教育に適した場所に新たなキャンパスが設けられ、少人数教育により、高度な専門性を備えた看護師の育成を目指します。

公開講座

5月10日から10月18日(各土曜日、全20講座)にかけ、今年度も短期大学部との共同事業として「金城大学公開講座」を開催しました。大学・短期大学の教員による高齢化社会に対応した講座や外部講師による体験講座などが行われ、地域の方々を中心に、多くの方が聴講されています。なお、平成27年度も実施を計画していますので、大学・短期大学部ホームページ等をご覧の上、是非ご参加ください。



北國健康生きがい支援事業



今年度も、北國新聞社との共催で、一般の方を対象とした「医療健康講演会」「社会福祉講演会」が、北國新聞会館(金沢市)にて開催されました。今年度は7月19日(土)に、半谷静雄学長による「要注意!『息切れ』は万病のサイン」、9月20日(土)には、社会福祉学部・内慶瑞教授による

「袖振りあって縁づくり」寄り添う人と安心なまちへのアプローチ」をテーマに開催し、多くの聴講者がありました。

ゆうがく広場／悠遊健康サークル

今年度も介護福祉コースによる地域の高齢者の方々との交流を通じたレクリエーション活動事業として「ゆうがく広場」を、また、医療健康学部による白山市と本学が連携した地域在住高齢者を対象としたマシントレーニング、健康体操などを本学学生と交流しながら行う健康維持・改善講座事業として「悠遊健康サークル」がそれぞれ実施されており、地域の方々からもたいへん好評をいただいています。なお、活動状況等の詳細については、大学ホームページにも掲載されていますのでご覧ください。



金城学園創立110周年記念日に特別講話



学園が創立110周年を迎えた今年の11月4日(火)、「金城学園創立110周年記念日特別講話」が催され、加藤博副理事長が1904(明治37)年に金城遊学館が創設された後の110年の学園のあゆみ、第二代加藤二郎理事長が著した「先生ごころ」、金城学園の教育理念などについて、約130人の教職員・学生に特別講話しました。併設の遊学館高等学校でも同日、加藤晃学園長の特別講話が開催されました。

ハナミズキ植樹式

11月6日(木)、社会福祉学部棟植え込みに米政府から日本に贈られたハナミズキが植えられました。これは世界的

化学者高峰讓吉博士らが米国に桜を寄贈して100年の節目を記念し、日本に届けられたものです。「日米友好の木ハナミズキいしかわ植樹事業実行委員会」が譲り受けた70本のうち6本が本学に植樹されました。

式では学生、職員が見守るなか、加藤博副理事長、半谷静雄学長が高さ1.5メートルの苗木に土をかぶせ、成長を願いました。加藤博副理事長は「毎年4、5月に美しい花を咲かせるだろう。思い出を大事にしてほしい」と挨拶し、11月4日に創立110周年を迎えた金城学園の新たなシンボルとして親しまれることに期待しました。



第9回保健・医療・福祉創造フォーラム開催報告

11月15日(土)に第9回保健・医療・福祉創造フォーラムが本学にて開催され、保健・医療・福祉施設の職員、一般の方、学生などが参加しました。大会テーマを「ライフステージごとの栄養と健康」とし、鈴木明子氏(プロフィギュアスケーター、慶應義塾大学システムデザイン・マネジメント研究所研究員)による講演「スケートを通して見つけた大切なこと」が行われました。講演後にはシンポジウム「ライフステージごとの栄養と健康」が開かれ、専門家を招き、それぞれの立場における現状や展望などを提示し、専門性の高い情報・意見交換の場となりました。



退任教職員のご案内

社会福祉学部の館惣一良教授、岩本静香教授、加古朝海准教授、事務職員の川上正文さん(事務局長)、今村元文さん(図書館事務課長、北村貴子さん(教務部)の6人が3月末で退職されました。また、事務職員の中村紗由莉さん(学生部)が9月末で退職されました。

研究・教育活動報告

研究活動成果報告会開催報告

本学教員を対象に、学内競争的資金として交付される特別研究費・国外研究費に採択された研究活動について、10月23日～10月30日の期間で実施された活動成果報告会（ポスター発表）の発表者は次の通りです。

- ① 佐々木賢太郎准教授（医療健康学部）
「運動中の頸部吸気筋の動員パターンに関する研究」
- ② 神谷晃央講師（医療健康学部）
「運動療法が閉脚立位時の内反膝（O脚）に与える影響―下肢アライメント・膝関節モーメント・足圧中心位置について―」
- ③ 木村剛講師（社会福祉学部）
「階段昇降動作時のクリアランス―つまずきを予防するために―」
- ④ 野口雅弘講師（医療健康学部）
「血液透析患者における体組成評価の妥当性の検討」
- ⑤ 越納美和助手（社会福祉学部）
「地域高齢者の買い物への不安の実態とその要因」
- ⑥ 犬丸敏康准教授（医療健康学部）
「物品把握に伴う手の適合性に関する実験的研究」



⑦ 川邊弘之教授（社会福祉学部）

「聴覚障害学生のためのアクティブラーニング参加支援」

⑧ 森啓至教授（医療健康学部）

「神経変性疾患でみられる嗅覚異常症状の解明をめざして」



科学研究費助成事業採択状況

文部科学省及び独立行政法人日本学術振興会による科学研究費助成事業は、人文・社会科学から自然科学まで全ての分野にわたり、豊かな社会発展の基盤となる独創的・先駆的な研究に対する競争的研究費（助成制度）です。平成26年度の採択・交付者は次の通りです。

【大学】

- ① 川邊弘之教授（社会福祉学部）
「視野障害学生のためのHMDシステムの研究―視線移動を考慮した健常者視野の提供―」
- ② 佐々木賢太郎准教授（医療健康学部）
「転倒要因としての固有感覚の検証」
- ③ 下村有子教授（社会福祉学部）
「夜盲などの光感受性が低下した学生のための暗視カメラを用いた支援システムの開発」
- ④ 小島聖講師（医療健康学部）
「理学療法的治療が関節拘縮の進行予防と回復に及ぼす病理組織学的影響」
- ⑤ 元村智明准教授（社会福祉学部）
「大阪『博愛社』の研究―125年の歴史的検証―」

⑥ 田中克恵准教授（社会福祉学部）

「特別養護老人ホーム入所者の終末期を支えるチームケアに関する研究」

【短大部】

① 瀬戸就一教授（ビジネス実務学科）

「360度カメラを用いた聴覚障害学生のアクティブラーニング参加支援システムの開発」

JST助成による研究

「視野障害者自立支援めがねの社会実装」結果報告

下村有子教授（社会福祉学部）

本研究は、独立行政法人科学技術振興機構（JST）の「戦略的創造研究推進事業（社会技術研究開発）」実装支援プロジェクトに採択され、平成23年10月から行われておりましたが、平成26年9月に終了いたしました。この研究の目的は近年高齢化が進むにつれて急増している緑内障、網膜色素変性症、加齢黄斑変性症などで発生する視野障害の支援です。支援めがねシステムはその人の視野の位置と大きさを測り、そこに健常者の視野を提供します。全国14か所でデモ機の体験会を開き、200人以上の人々にご協力をいただきました。



卒業後の証明書交付について

卒業後に発行可能な証明書

卒業後、本学にて発行可能な証明書は下記の通りです。

名称	手数料／1部	備考
卒業証明書	100円	
学業成績証明書	200円	
社会福祉主事任用資格単位修得証明書	200円	
卒業証明書・社会福祉士指定科目履修証明書(*1)	200円	社会福祉士の国家試験受験専用
教員免許申請用学力に関する証明書	200円	申請免許種ごとに必要(申請時に免許種類を明記のこと)

*単位修得証明書は任用資格取得に必要な科目の単位を修得したことを証明するものです。

*左記以外のものは申し込み前に、教務部までお問い合わせください。

(*1) 社会福祉士の国家試験を受験しなかった方が、国家試験を受験する場合に必要。一度受験した方は受験票のコピーなどで再受験が可能ですので受験時にこの証明書は必要ありません。

申し込みについて

原則として、申し込みは郵送または窓口のみの取扱いとなります。

a) 郵送の場合

下記のことを大学事務局《申し込み先》宛に送付してください。

- ① 証明書手数料分の切手。
- ② 送付先郵便番号・住所・宛名を明記した返信用定形外封筒(角形2号)。
※定形外郵便料金+簡易書留分310円、郵送料分切手を貼付け済み。
速達希望ならば+280円。
- ③ 右記《記入必要事項》を記載した便箋等。

b) 窓口の場合

窓口で証明書の申請、または、受取る場合は名前と生年月日が分かるもの(免許証等)を持参の上、所定の申請用紙に必要事項を記入の上、代金をあわせてお支払いください。身分証を提示できない方からの申請は受け付けることが出来ません。

《記入必要事項》

- 1.氏名・生年月日
- 2.入学及び卒業の年月
- 3.学籍番号(わかれば記載願います。)
- 4.請求証明書名と必要部数
- 5.提出先(必要部数毎に明記してください。)
- 6.必要理由(理由によって様式が異なる場合があります。)
- 7.連絡先(昼間連絡可能な電話番号。)

《申し込み先》

〒924-8511 石川県白山市笠間町1200
金城大学 教務部 Tel:076-276-4400(代)

*a) 記載事項に不備のあるものについては、受け付けることが出来ませんので、ご了承ください。

受取りについて

受け取りは郵送または窓口のみの取扱いとなります。

a) 郵送の場合

郵便での申込の際は必ず、返信用封筒に定形外封筒を使用し、右記のとおり定形外郵便料金と簡易書留分(310円分)の切手を返信用封筒に貼付してください。

例:証明書3通までの場合、返信用封筒には定形外郵便料金120円と簡易書留料金310円分の切手、合計430円分の切手を貼ってください。

原則として、繁忙期及び特殊なものを除き、到着後3日以内に発送します。

また、お急ぎの場合は往復とも速達(+280円)にしてください。

b) 窓口の場合

直接取りに来られる場合には、発行を確認の上、来学してください。なお、その場合は身分証(免許証など)を必ず持参してください。代理受領の場合も本人が事前連絡の上、代理人が身分を証明できるものを持参してください。

《返信用定形外封筒の郵送料金(参考)》

申込数	簡易書留 (定形外郵便料金+310円)	速達郵便 (+280円)
証明書3通まで	430円	710円
証明書5通まで	450円	730円
証明書7通まで	515円	795円

*上記料金は2014.4.1以降のものです。

*郵便料金についてはあくまで目安の料金です。
不足が生じた場合は、後日請求させていただきます。

注意事項

- 原則作成までに3日(土日、祝日は除く)かかりますので、できるだけ余裕を持って申し込みください。
- 原則到着後3日(土日、祝日は除く)で発送します。お急ぎの場合は、申し込み・返信用とも速達分の切手を貼ってお送りください。
- 電話やFAX、電子メールでの申し込みや研究室等への依頼は受け付けません。
- 進学の調査書については、別途お問い合わせください。
- 大学院受験用調査書や英文証明書等特別に作成を要するものは、2週間以上の余裕をもって申し込んでください。
- 英文証明書を請求する場合は、氏名のローマ字綴り(「日本国旅券」等公的証明書に登録したもの)を必ず書き添えてください。
- 証明書は在学当時の姓名で作成しますので、改姓された方は必要に応じて、戸籍抄本や市区町村の証明書等を先方へ併せて提出してください。

卒業生の施設利用



図書館

卒業生も図書館所蔵資料の閲覧・複写・貸出ができます。(貸出期間の延長はできません)

《貸出冊数》3冊 《貸出期間》2週間(雑誌は除く)

※必ず事前に図書館(直通:076-276-4412)までご連絡ください。その際、卒業年度・学籍番号・学科・名前をお知らせください。

※利用の際は現住所等を確認できるもの(免許証など)を持参し、カウンターに申し出てください。

※利用日・時間は在学生と同様です。

小講義室・演習室等

卒業生が勉強会(自主ゼミ・研究会)を実施できる環境(場所)整備として、平日夜、土曜日などに小講義室・演習室等を使用することができます。なお、実際の使用に係る手続き等の詳細については、同窓会ホームページをご参照ください。

同窓会会員の皆様へ

この度、同窓会会報誌第8号を発刊いたしました。ご一読いただければ幸いです。

同窓会事務局では、同窓会員の名簿の整備を行っています。行事のお知らせ、会報誌の送付など、同窓会運営に役立てています。住所や氏名が変更になった方は、同窓会事務局(※下記参照)までご連絡くださいますようお願いいたします。

なお、ご連絡いただいた個人情報につきましては、同窓会の運営および同窓生への支援以外の目的では使用いたしません。

今後とも、同窓会の活動にますますのご理解とご協力の程、よろしく願いいたします。

大学案内・入学試験に関するお問い合わせ

《入試広報部》

フリーダイヤル 0120-276-150

TEL 076-276-5175(直通)

FAX 076-275-4316

E-mail daigaku@kinjo.ac.jp

金城大学同窓会 会報誌 第8号 平成26年12月20日発行 編集兼発行：金城大学同窓会 事務局

〒924-8511 石川県白山市笠間町1200 TEL.076-276-4400 FAX 076-275-4316 <URL> http://www.kinjo.ac.jp/ku/ <E-mail> u-dosokai@kinjo.ac.jp